



(京都西南部)

7 遺跡及び木簡出土遺構の概要  
本調査はビル建設工事に伴う立会調査である。調査地に北接する七条小学校校地内での二次にわたる調査によって検出され、大量の木簡が出土した池沼状遺構の延長部の存在が予想された。調査の結果、推定通り池沼状遺構が調査地でも存在することを確認した。土層観察をした限りにおいては暗褐色泥土・腐植土が堆積しており、流れたような形跡は認められなかった。

(久世康博)

- 1 所在地 京都市下京区石井町
- 2 調査期間 一九八六年（昭61）七月
- 3 発掘機関 勝京都市埋蔵文化財研究所
- 4 調査担当者 久世康博
- 5 遺跡の種類 都城跡
- 6 遺跡の年代 平安時代
- 7 遺跡及び木簡出土遺構の概要

出土した遺物には土師器・須恵器があり、他に木製品（独楽・簾・串・箸・その他用途不明木製品）が出土しており、平安時代前期に属する。  
8 木簡の釈文・内容  
(1) 「六」（題籤軸）  
169×7×5 061  
偏平な木材の上端部から約一・三cmのところで切込みを施して段をつけ、下部は丸く削って下端部では尖らせている。頭部に墨書きを施している。

#### 9 関係文献

京都市文化観光局・勝京都市埋蔵文化財研究所『京都市内遺跡試掘立合調査概報』（一九八六年）

木簡学会『木簡研究』第六号（一九八三年）

同『木簡研究』第八号（一九八五年）